

当ファンドは単位型のケイマン籍オープンエンド型外国投資信託であり、当レポートの日付現在、募集を行っておらず、取得のお申し込みは出来ません
プレシヤス・トラスト

ベトナム・インフラストラクチャー・ファンド

Vietnam Infrastructure Fund

ケイマン籍オープンエンド型外国投資信託
月次レポート 2016年10月

【当ファンド(ベトナム・インフラストラクチャー・ファンド)の特徴】

当ファンド(ベトナム・インフラストラクチャー・ファンド)は、パフォーマンス・リンク債に投資する公募外国公社債投資信託です。パフォーマンス・リンク債を通じて投資効果が連動する対象は、ベトナムの運用会社であるビナキャピタル・インベストメント・マネジメント・リミテッドが運用するファンドであるベトナム・インフラストラクチャー・リミテッド、および、ベトナムの運用会社であるビナウェルス・ファンド・マネジメント・ジョイント・ストック・カンパニーが運用するファンドで、フォーラム・ワンのサブ・ファンドである、フォーラム・ワン-VCG パートナーズ・ベトナム・ファンドです。ベトナム・インフラストラクチャー・リミテッドはクローズド・エンド型(いわゆる会社型投資信託/投資法人)であり、その証券がロンドン証券取引所の新興市場(AIM)に上場されています。フォーラム・ワンはルクセンブルグ法に基づき設立された、変動資本を有する投資法人(SICAV)です。

【月次パフォーマンス】

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年次
2007	-	-	-	-	-	-2.48%	-0.48%	-6.79%	6.29%	2.27%	-5.96%	-1.32%	-8.75%
2008	-14.26%	11.92%	-7.91%	-6.47%	-9.29%	-18.18%	5.27%	-14.29%	-28.95%	-40.30%	-22.08%	5.93%	-80.62%
2009	40.05%	-7.96%	16.10%	-15.27%	45.94%	3.88%	2.32%	-4.77%	6.37%	2.87%	0.97%	-8.28%	89.82%
2010	11.68%	-0.67%	8.51%	-7.95%	-7.56%	-1.02%	1.03%	-2.09%	3.89%	5.78%	-0.11%	-2.79%	7.03%
2011	0.14%	-4.06%	-6.58%	2.20%	-10.74%	-1.09%	-3.78%	-11.43%	-7.34%	-1.57%	-4.56%	-7.65%	-44.52%
2012	0.30%	10.51%	11.95%	0.28%	-16.05%	-5.62%	16.49%	1.97%	7.75%	5.88%	2.82%	-2.78%	33.57%
2013	4.70%	4.52%	3.64%	0.50%	2.37%	-0.90%	-0.49%	0.85%	-0.45%	1.53%	9.74%	-3.04%	24.79%
2014	0.51%	6.47%	5.49%	-0.64%	-7.17%	-2.08%	7.62%	0.99%	3.53%	3.28%	-0.81%	-1.90%	15.29%
2015	1.17%	-3.12%	-0.72%	-0.30%	-1.64%	1.86%	5.48%	-20.27%	-1.82%	-1.30%	10.09%	-2.90%	-15.33%
2016	4.38%	5.41%	-2.80%	4.07%	0.36%	-2.54%	11.16%	3.80%	24.92%	-1.71%			54.21%

【ファンドの運用状況】

ファンドの基礎データ

設定日	平成19年6月18日
償還日	平成29年7月20日(※)
決算日	年1回(原則4月30日)
* 基準価額	50.01 米ドル
* 受益権口数	466,000 口
* 純資産総額	23.31 百万米ドル
* 設定来騰落率	-49.99 %

* 基準日現在

運用状況のハイライト

当ファンドの一口当たり基準価格は
2016年10月31日現在 50.01 米ドルとなりました。

2016年10月31日現在、当ファンドの月次騰落率は
-1.71%、設定来騰落率は-49.99%となりました。

(※) 現在、信託証書の変更を計画中であり、予定どおりの内容で変更された場合には、償還日の定めがなくなります。

- 書面は管理会社であるムーア・マネジメント(バーミュエダ)リミテッドが作成したものです。
- 信頼できると判断する情報に基づいて作成しておりますが、その内容の正確性や完全性を保証するものではありません。
- 将来の市場環境の変化や基準価格の変動を予測するものではなく、ご参考情報を御提供するものです。
- 本書面の内容は事前の通知なく変更されることがあります。

MOORE

当ファンドは単位型のケイマン籍オープンエンド型外国投資信託であり、当レポートの日付現在、募集を行っており、取得のお申し込みは出来ません

プレシヤス・トラスト

ベトナム・インフラストラクチャー・ファンド

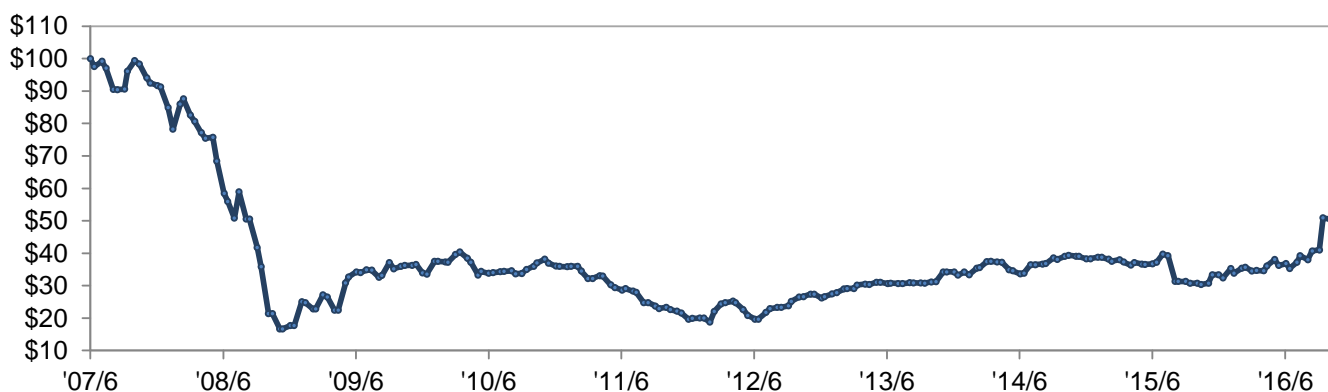
Vietnam Infrastructure Fund

ケイマン籍オープンエンド型外国投資信託

月次レポート 2016年10月

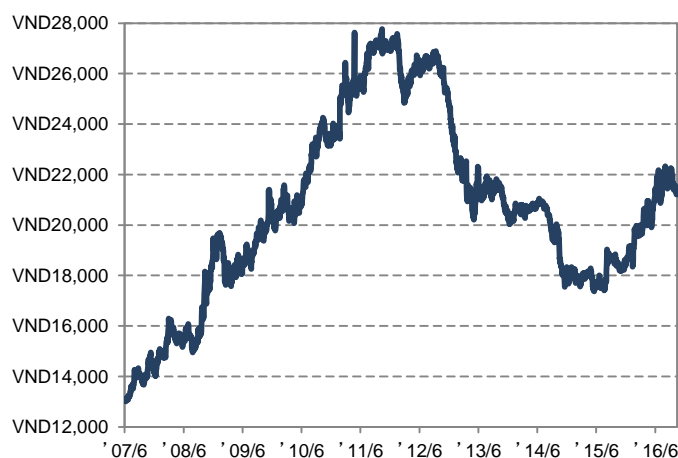
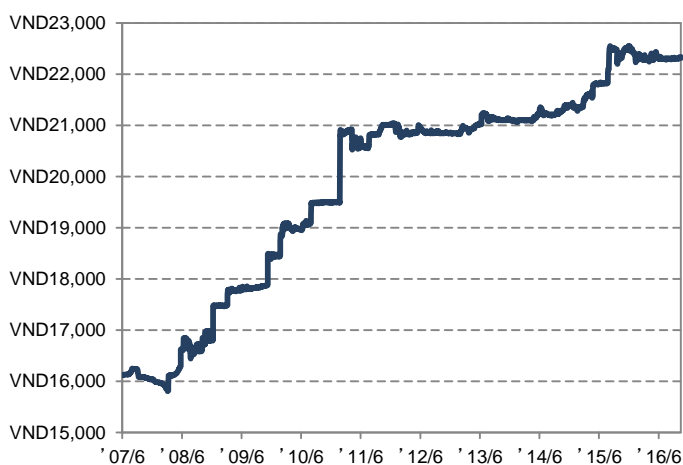


【基準価額の推移】



【USD/VND 為替推移】

【JPY/VND 為替推移】



- ▶ ベトナム株指数、為替推移のデータの出所はブルームバーグです。
- ▶ ベトナム株指数としてベトナムVN指数(ベトナム証券取引所上場の全銘柄で構成された時価総額加重平均の株価指数)を用いております。ベンチマークではなく、あくまでご参考情報です。

- 書面は管理会社であるムーア・マネジメント（パーミュエダ）リミテッドが作成したものです。
- 信頼できると判断する情報に基づいて作成しておりますが、その内容の正確性や完全性を保証するものではありません。
- 将来の市場環境の変化や基準価格の変動を予測するものではなく、ご参考情報を御提供するものです。
- 本書面の内容は事前の通知なく変更されることがあります。

MOORE

当ファンドは単位型のケイマン籍オープンエンド型外国投資信託であり、当レポートの日付現在、募集を行っておらず、取得のお申し込みは出来ません
プレシヤス・トラスト

ベトナム・インフラストラクチャー・ファンド

Vietnam Infrastructure Fund

ケイマン籍オープンエンド型外国投資信託
月次レポート 2016年10月

【ベトナム・インフラストラクチャー・リミテッド概要】

ベトナム・インフラストラクチャー・リミテッドは、ベトナムおよび周辺アジア諸国におけるインフラ・プロジェクトおよびインフラ資産を保有する会社の分散化されたポートフォリオに投資することをその主たる活動とするクローズド・エンド型投資信託として設立されました。その発行する証券（種類株式）は、ロンドン証券取引所の新興市場（AIM）に上場されています。

【フォーラム・ワン-VCG パートナーズ・ベトナム・ファンド概要】

フォーラム・ワン-VCG パートナーズ・ベトナム・ファンドは、変動資本を有するオープンエンド型投資法人であるフォーラム・ワンの最初のサブ・ファンドです。主として、ホーチミン証券取引所またはハノイ証券取引所で上場または取引されている発行体、あるいは、経済活動の主要部分をベトナムで行い、世界中の株式市場で上場または取引されている発行体、いずれかの発行体の上場有価証券への投資に特に注力しています。

【投資運用会社概要】

ベトナム・インフラストラクチャー・リミテッドの投資運用会社であるビナキャピタルは2003年に設立され、現在、ベトナムにフォーカスした投資会社であるベトナム・オポチュニティー・ファンドおよびベトナムと周辺アジア諸国の不動産関連に投資する投資会社であるビナランドの投資運用会社でもあります。フォーラム・ワン-VCG パートナーズ・ベトナム・ファンドの投資運用会社であるビナウエルスは、ビナキャピタル・グループに属する会社であり、State Securities Commission of Vietnamに登録されています。

- 書面は管理会社であるムーア・マネジメント（バーミューダ）リミテッドが作成したものです。
- 信頼できると判断する情報に基づいて作成しておりますが、その内容の正確性や完全性を保証するものではありません。
- 将来の市場環境の変化や基準価格の変動を予測するものではなく、ご参考情報を御提供するものです。
- 本書面の内容は事前の通知なく変更されることがあります。

MOORE

ベトナム・インフラストラクチャー・ファンド

Vietnam Infrastructure Fund

ケイマン籍オープンエンド型外国投資信託
月次レポート 2016年10月

【マーケットコメント】

ベトナム・インフラストラクチャー・リミテッドのマネージャーのコメント

2016年10月30日現在のベトナム・インフラストラクチャー・リミテッド（VNI）の純資産総額（NAV）は8,380万米ドル、一株あたり純資産価格は0.239米ドルとなり、前月比で若干減少しました。当ファンドの株価は前月末の0.213米ドルから上昇して0.220米ドルで引けました。その結果、純資産価格に対する当ファンドの株価ディスカウント率は8.1%に縮小しました。

フォーラム・ワンVCGパートナーズ・ベトナム・ファンドのマネージャーのコメント

10月のベトナム株式市場は小幅な値動きを繰り返した末、米ドル換算で1.6%下落して引けました。当月、市場では大型株間の差異が拡大したことに加えて、利食い売り圧力が高まったため、ベトナム企業の第3四半期業績を受け、ベトナム株価指数（VN指数）が確固として690の大台を超える可能性は実現しませんでした。市場の実績株価収益率は、過去2カ月間は16倍を超えていましたが、10月は15.7倍に後退しました。顕著な動きとして、VN指数の情勢を方向付けた銘柄は、ホーチミン証券取引所（HOSE）に最近上場した建設会社、ファロス建設（ROS）でした。同社の株価は前月比で153%急伸、9月の新規上場以来のベースでは585%と暴進しました。また、前月は外国人投資家の売り越し額が1億2,590万米ドルと過去最大に達しましたが、当月の外国人投資家の動向は500万米ドルとわずかながら再び買い越しに戻りました。ROSの寄与を除くベースでは、10月のVN指数は3.8%下落したと推定されます。

当月、当ファンドはVN指数をアンダーパフォームし、VVFクラスA株式一株あたり純資産価格は米ドル換算で4.4%低下しました。ただし年初来ベースでは2.2%、当ファンドを設定した2015年7月14日以来では19.2%の差をつけてVN指数をアウトパフォームしています。当ファンドが10月にアンダーパフォームした原因としては、上位保有銘柄が年初来9カ月間の力強いパフォーマンスの後、株価調整に入ったことに加えて、前述の建設会社（ROS）株式をまったく保有していなかったこと、およびその他の優良株のうち市場の下落傾向に何とか抗した少数銘柄（VNM +1.4%、MWG +4.2%）をアンダーウェイトしていたことが挙げられます。

当月は、当ファンドがポートフォリオに組み入れている企業の大半が第3四半期業績を発表しました。その結果は概して我々運用チーム内の予想に沿ったものであり、この予想では当ポートフォリオの加重平均1株当たり純利益（EPS）の2016年の成長率を29%と見込んでいました。また我々の予想では、投資先企業からこれまで集めた情報を踏まえて、当ポートフォリオの2017年EPS成長率を14%と見越しています。ベトナム企業の収益予想は一般的に保守的であるうえに、翌年の計画に関する情報提供は年次総会前には通常限定的になるため、前述14%の成長率は我々が入手している限られた量の詳細情報に基づくものです。ただし当ポートフォリオ組み入れ企業の大半は、翌年15~20%のEPS成長率を達成できる見込みです。

ポートフォリオ銘柄のうち、建設会社と建設資材会社は好調な販売量と有利な投入原価の追い風を受け、前年同期比で平均60%という優れた利益成長を第3四半期に相次いで報告しました。代表的銘柄としてビナムルク（VNM）を筆頭とする消費財企業は、2016年第3四半期に売上成長率16%、最終利益成長率19%を達成しました。情報技術（IT）企業（保有銘柄はFPT、株価は6.8%下落）は、第3四半期に前年同期比20%の収益成長率を報告し、業績改善を実証しました。FPTについては、当月の株価の値動きは確かに芳しくなかったものの、次の第4四半期と翌年第1四半期には、ソフトウェア・アウトソーシングとシステム・インテグレーションの業績改善や、卸売り・小売り事業の売却など、プラスに転じるきっかけが複数見込まれます。

今後につきましては、当ファンドの上位保有銘柄が堅調なファンダメンタルズと成長見通しを所与として、好調なパフォーマンスを継続する見込みです。さらに、市場が低迷している現況において、我々運用チームはアルファを生み出すべく、新たな投資機会を引き続き探し求める所存です。

- 書面は管理会社であるムーア・マネジメント（バーミュエダ）リミテッドが作成したものです。
- 信頼できると判断する情報に基づいて作成しておりますが、その内容の正確性や完全性を保証するものではありません。
- 将来の市場環境の変化や基準価格の変動を予測するものではなく、ご参考情報を御提供するものです。
- 本書面の内容は事前の通知なく変更されることがあります。

MOORE

ベトナム・インフラストラクチャー・ファンド

Vietnam Infrastructure Fund

ケイマン籍オープンエンド型外国投資信託
月次レポート 2016年10月

マクロ経済の状況（共通）

国内需要と製造業が10月も引き続き、ベトナム経済をけん引しました。ベトナム統計総局（GSO）の報告によれば、鉱工業生産指数（IIP）は7%上昇し、中でも製造活動は11.9%と急伸しました。消費者関連では、小売販売額が名目9.3%、実質7.4%の増加となり、成長を示しました。ベトナムの消費者は引き続き前向きな購買意欲を示しています。その証左として、ニールセンが発表した第3四半期の消費者信頼感指数において、ベトナムの数値は107となり、今後の小売販売に明るい支援材料となっています。

外国直接投資（FDI）の流れは、ベトナム経済にとって依然として良好な外貨獲得源であり、年初来10カ月の流入額は前年同期比で7.6%増の約127億米ドルとなりました。ただし当月に登録されたFDIは、比較対象となる前年のFDI登録額が高かったため、前年同期比では8.7%減少しました。

貿易に関しては、10月の貿易収支額は2億米ドルの赤字となり、年初来の貿易黒字額が35億米ドルに減少しました。当月の輸出成長率は前年同期比で8.3%と高い伸びを示しましたが、前月（9月）比では0.5%と低い伸びにとどまりました。特に、携帯電話と鉄鋼の輸出が前月よりも減少しました。インフレ率は、主に病院費とガソリン価格の上昇により、前月比で0.83%上昇しました。11月と12月は消費活動と生産活動が最も活況を呈する時期にあたるため、インフレ率は上昇傾向となる見込みです。最後に、ベトナム国立銀行（SBV）の報告によれば400億米ドルに上る外貨準備高が確保されていることが支援材料となり、ベトナム・ドン（VND）は安定を維持しました。

国内需要の継続的な伸びと製造業の安定成長、そして好調なFDI流入が続くなか、ベトナム経済はこの一年を力強く締めくくる体制を整えています。今年のGDP成長率は6.0%となる見込みです。

- 書面は管理会社であるムーア・マネジメント（バーミューダ）リミテッドが作成したものです。
- 信頼できると判断する情報に基づいて作成しておりますが、その内容の正確性や完全性を保証するものではありません。
- 将来の市場環境の変化や基準価格の変動を予測するものではなく、ご参考情報を御提供するものです。
- 本書面の内容は事前の通知なく変更されることがあります。

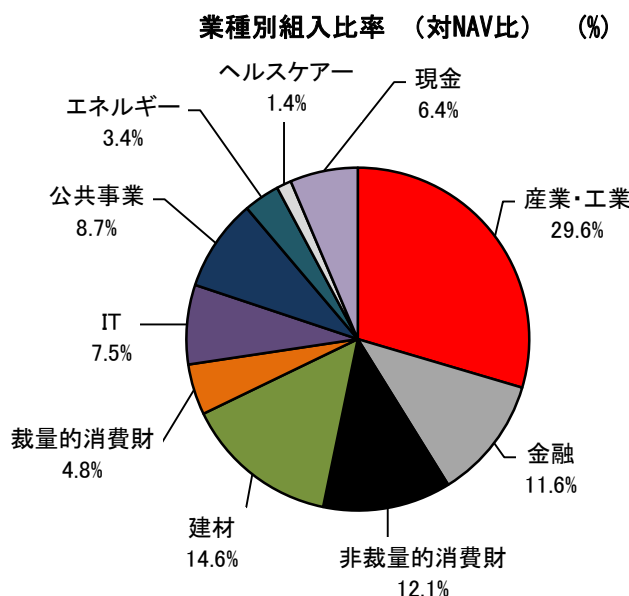
MOORE

ベトナム・インフラストラクチャー・ファンド

Vietnam Infrastructure Fund

ケイマン籍オープンエンド型外国投資信託
月次レポート 2016年10月

【フォーラム・ワン-VCG パートナーズ・ベトナム・ファンド(VVF) の資産配分状況】



【フォーラム・ワン-VCG パートナーズ・ベトナム・ファンド(VVF) 保有組入銘柄上位】

	銘柄名	業種	比率	概要 (事業内容など) (※)
1	ビナムルク (VNM)	非裁量的消費財	9.9	大きな市場占有率を有する乳製品大手
2	FPT 情報通信 (FPT)	IT	7.5	高い市場占有率を有するテクノロジー会社で、ソフトウェア・アウトソーシング、ソフトウェア開発、システム統合、IT サービスに従事
3	ベトナムコンテナグループ (VSC)	産業・工業	6.5	ベトナム北部ハイフォンの港湾運営・物流大手
4	ホアファット鉄鋼グループ (HPG)	建材	6.4	ベトナム鉄鋼製造最大手のひとつで、国内の市場占有率 20.7%
5	ビンミン・プラスチック (BMP)	産業・工業	6.5	プラスチック管製造の国内 2 位
6	コテックコンストラクション (CTD)	産業・工業	5.1	民間建設会社の最大手、元請、設計建築、EPC (設計・調達・建設) を手掛ける
7	カンドン水力発電 (SJD)	公益事業	4.2	小規模な水力発電会社、4 発電所・104 メガワットを擁する
8	ペトロベトナムテクニカルサービスズ (PVS)	エネルギー	3.4	石油ガスの上流工程サービスの大手で、作業船、設計・施行、作業・保守、FPSO/FSO 船などのサービスを提供
9	ペトロベトナムガス (GAS)	公益事業	3.3	ASEAN・アジアにおけるガス取り扱い大手
10	ホーチミン市インフラ投資 (GII)	産業・工業	3.3	ベトナムでのインフラ開発投資大手、交通・水プロジェクトに注力

(※) 原文はビナウエルス提供

- 書面は管理会社であるムーア・マネジメント (パーミュエダ) リミテッドが作成したものです。
- 信頼できると判断する情報に基づいて作成しておりますが、その内容の正確性や完全性を保証するものではありません。
- 将来の市場環境の変化や基準価格の変動を予測するものではなく、ご参考情報を御提供するものです。
- 本書面の内容は事前の通知なく変更されることがあります。

MOORE

当ファンドは単位型のケイマン籍オープンエンド型外国投資信託であり、当レポートの日付現在、募集を行っておらず、取得のお申し込みは出来ません
プレシヤス・トラスト

ベトナム・インフラストラクチャー・ファンド

Vietnam Infrastructure Fund

ケイマン籍オープンエンド型外国投資信託
月次レポート 2016年10月

【ベトナム・インフラストラクチャー・リミテッド保有組入銘柄上位】

	銘柄名	業種	比率	概要（事業内容など）
1	VNC 55 Infrastructure JSC ¹	通信	26.0	ベトナム中部の、携帯電話基地局賃貸会社
2	Global Infrastructure Investment JSC ¹	通信	25.8	ベトナム南部の、携帯電話基地局賃貸会社
3	Mobile Information Service JSC ¹	通信	18.2	ベトナム北部の、携帯電話基地局賃貸会社
4	Long An Industrial Service & Residential	工業団地	2.6	ロンアン省における1,925ヘクタールの開発

¹ SEATHグループ会社

◎ ベトナム・インフラストラクチャー・リミテッドによる現物配当があり、また、発行していた2つの種類株式のうち1つの種類株式について強制買い戻しを行った為、レポートのレイアウトを変更致しました。

- 書面は管理会社であるムーア・マネジメント（バーミューダ）リミテッドが作成したものです。
- 信頼できると判断する情報に基づいて作成しておりますが、その内容の正確性や完全性を保証するものではありません。
- 将来の市場環境の変化や基準価格の変動を予測するものではなく、ご参考情報を御提供するものです。
- 本書面の内容は事前の通知なく変更されることがあります。

MOORE

当ファンドは単位型のケイマン籍オープンエンド型外国投資信託であり、当レポートの日付現在、募集を行っておらず、取得のお申し込みは出来ません
プレシヤス・トラスト

ベトナム・インフラストラクチャー・ファンド

Vietnam Infrastructure Fund

ケイマン籍オープンエンド型外国投資信託
月次レポート 2016年10月

【投資リスク】

当ファンドは、ベトナム・インフラストラクチャー・リミテッドの発行する証券の価格、および、フォーラム・ワン-VCG パートナーズ・ベトナム・ファンドの価格、に実質的に連動します。ベトナム・インフラストラクチャー・リミテッドの発行する証券の価格は、ロンドン証券取引所の新興市場（AIM）の市場価格であり、価格変動リスクにより損失が生じることがあります。また、AIM での取引市場で十分に流動性があるとは限らず、取引価格がベトナム・インフラストラクチャー・リミテッドの純資産価格を十分に反映していない価格での処分を強いられる可能性があります。また、フォーラム・ワン-VCG パートナーズ・ベトナム・ファンドの価格は変動しますし、投資先の流動性が充分でなく、容易に換金できない可能性があります。

当ファンドは米ドル建てであり、仮に米ドル建てで元本を上回っていても、日本円に換算した場合には、米ドル/円の為替リスクにより、損失が生じることがあります。当ファンドの直接の投資先は、パークレイズ・バンク・ピーエルシー手配の特別目的会社であるダリ・キャピタル・ピーエルシー（以下「本社債発行会社」）の発行する、パフォーマンス・リンク債であるため、本社債発行会社の資金繰り等が悪化すると、償還金の支払い等の債務が履行されず、損失が生じることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、受益証券一口当たりの純資産価格の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

【手数料等】

申込手数料： 購入価格に対して上限 3.24%（税込み）

買戻手数料： 買戻価格に対して上限 3.24%（税込み）

管理報酬： 額面に対して年率 0.3%

受託報酬： 額面に対して年率 0.1%、毎月 1,000 米ドルの固定報酬、その他取引処理費用等実費

販売報酬： 額面に対して年率 0.7%

設立費用等： 当初募集総額の 0.22%相当（償却済み）

本社債手数料： 当初募集総額の 2%相当（償却済み）、額面に対して初年度は年率 1.1%（2 年目以降は年率 0.6%）

ベトナム・インフラストラクチャー・リミテッド、フォーラム・ワンにかかる手数料： 上場ポートフォリオ株式に関し、当該株式が対応しているフォーラム・ワン-VCG パートナーズで純資産を基準とした、プライベート・エクイティ株式に関し、当該株式が対応している投資対象の売却額等を基準とした、さらに、フォーラム・ワン-VCG パートナーズで純資産を基準とした、それぞれ運用関連手数料。

その他、取締役報酬、監査報酬等の実費

【販売会社に関する情報】

当ファンドの販売会社は、エース証券株式会社（大阪府大阪市中央区本町二丁目 6 番 11 号）であり、証券業を営む証券会社（金融商品取引業者）です。日本の金融庁の監督下にある証券会社であり、登録番号は、近畿財務局長（金商）第 6 号です。また、日本証券業協会の会員です。

【その他関係法人等】

管理会社： ムーア・マネジメント（バーミューダ）リミテッド／管理会社としての業務を行います。

管理事務代行会社： HSBC インスティテューショナル・トラスト・サービス（アジア）リミテッド／純資産価格の評価や管理業務を行います。

代行協会員： エース証券株式会社 / 代行協会員業務を行います。

【本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等】



商号等： エース証券株式会社（金融商品取引業者）登録番号：近畿財務局長（金商）第 6 号

加入協会：日本証券業協会

指定紛争解決機関 特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

- 書面は管理会社であるムーア・マネジメント（バーミューダ）リミテッドが作成したものです。
- 信頼できると判断する情報に基づいて作成しておりますが、その内容の正確性や完全性を保証するものではありません。
- 将来の市場環境の変化や基準価格の変動を予測するものではなく、ご参考情報を御提供するものです。
- 本書面の内容は事前の通知なく変更されることがあります。

MOORE